

日本では16人に1人がかかるといわれる乳がん。治療率を高めるには「早期発見」が基本です。今回は、画像では見えないような微小がんの検出が可能な「テロメスキャン」という技術をご説明します。



宇都宮セントラルクリニック理事・放射線科医 佐藤俊彦氏

・セントラルメディカル倶楽部顧問医
・野口記念インターナショナル画像診断クリニック院長

・主な著書
『100歳まで現役で生きる人のシンプルな習慣』（幻冬舎）、他多数

みなさんの体には、ゼを有するがん細胞で

毎日300から5000個のがん細胞が発生しています。

しています。

がん細胞の特徴のひとつに、無限増殖があります。正常細胞では、テロメアという染色体の末端部にある構造物によって増殖が抑制されています。これが細胞分裂時に短くなり、ある程度の長さになると自然と分裂は停止するのですが、修復する酵素であるテロメラ

ゼを有するがん細胞では、無限増殖を繰り返します。このテロメラゼの有無で、がん細胞と正常細胞を区別するしくみがテロメスキャンという技術です。みなさんの血液の中を流れているがん細胞をCTC (circulating tumor cells・循環がん細胞) というのですが、7.5mlの採血を実施してこのCTCの数を特定し

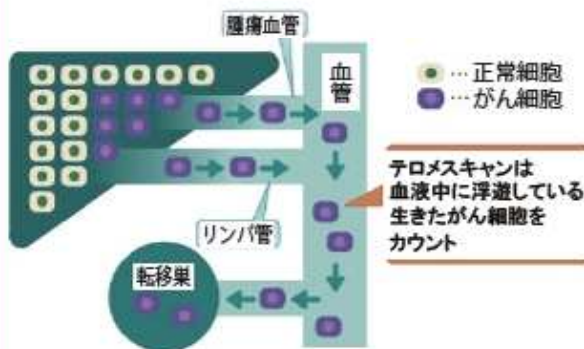
は、無限増殖を繰り返します。

このテロメラゼの有無で、がん細胞と正常細胞を区別するしくみがテロメスキャンという技術です。みなさんの血液の中を流れているがん細胞をCTC (circulating tumor cells・循環がん細胞) というのですが、7.5mlの採血を実施してこのCTCの数を特定し

ます。

ます。

画像で見えない微小がんの検出を可能にするので、超早期診断を実現します。栃木県では、当院でのみ検査ができます。



今回は「見えないがんを治す～BAK療法～について」のお話です。

乳がん検診実施中



医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック

宇都宮市屋板町 561 - 3

<http://www.ucc.or.jp>

☎ 028・657・5215

宇都宮セントラルクリニック 検索

PR